

令和6年度 飛鳥中学校の進路学習・進路状況について

本校ではキャリア教育（自分らしい生き方を実現するため）を重視し、地域の方や専門機関の方の講演会、職場体験学習などを行っています。働くということについて考え、自分の特長や将来への希望を自覚し、自分の進路を切り開いていってほしいと考えています。一方、中学校で義務教育は終わり、その後の進学のためには受験をしなければなりません。自分に合う進学先を選択していけるよう、本校では生徒が授業に集中できる環境をつくり、勉学に励めるようにしています。また各学年での段階的な進路学習を通して、自分の進路を生徒自ら決定できる力をつけてほしいと願っています。年度末に際し、今年度本校で行われた進路学習と進路の状況をお知らせします。

○各学年の取組

・第1学年

職業調べでは、自分の興味のある職業について調べ、イラストや図、色彩を工夫して新聞形式にまとめました。また、仕事についての講演会を通して、人生の価値観や様々な職業への適性について考えを深め、中学校卒業後の進路についても研究しました。校外学習では、英語を活用したコミュニケーション活動を行い、課題を解決するために班で協力して取り組みました。

・第2学年

職場体験学習と、その事前・事後学習では正しい職業観、責任感、社会人としてのマナーを学びました。また、体験で学んだことをまとめました。

進路学習では、中学校卒業後の多岐にわたる進路についての学習をふまえ、上級学校を調べました。また、いろいろな活動を通して自己を理解し、自分に合う進路について考えました。

・第3学年

修学旅行の事前学習では京都・奈良の寺社や歴史的建造物について文献やインターネットを利用して調べ、工夫してまとめました。また、班活動を通して計画や見学経路を主体的に決定し、協調性と計画に基づいた実践力の向上を目指しました。

進路学習では、上級学校調べレポートの作成を通して、関心のある学校について詳しく調べました。また、進路説明会等の情報に基づいて、主体的に卒業後の進路を選択しました。入試に向けての取組としては、自己PRカードの作成、面接練習（校長面接）等、自己を分析してまとめ、表現する活動を行いました。

○令和6年度 飛鳥中学校第3学年 進路に関することから（主なもの）

・三者面談（今年度は7月・11月・12月） ・進路説明会（6月・10月） ・進路希望調査（5回）

○令和6年度 入試日程（主なもの）

・入試相談（12月15日～） ・私立推薦入試（1月22日～） ・都立推薦入試（1月26、27日）
・私立一般入試（2月10日～） ・都立第一次・分割前期入試（2月21日）
・都立分割後期・第二次入試（全日制：3月11日、定時制：3月27日）
・都立第三次募集（3月27日）

○令和6年度入試で変更された点（新型コロナウイルス感染症等対応のため、継続して行われていることを含む）

- ・在京外国人生徒対象の選抜において、一橋高校、浅草高校、荻窪高校及び砂川高校の4校で新たに実施された。
また、応募資格について、これまで外国籍を有する者に限定していた国籍要件を撤廃し、日本語指導が必要な日本国籍の者の応募資格が認められるようになった。
- ・都立高校、私立高校のどちらも学校説明会や個別相談会は原則予約制となり、ホームページからの申込みが必要。
- ・都立高校の出願は、すべての高校でインターネット出願が実施された。
- ・都立推薦受検では、一部の学校で集団討論が実施された。
- ・都立の「文化・スポーツ等特別推薦」の基準に、大会実績や資格、検定試験等の成績に関わる内容は含まれない。
- ・都立の合格発表はインターネットで行い、受検番号毎に手続き時間の指示があった。
(校内掲示での発表も行われた。)

○今年度の都立入試を振り返って

感染症対策として変更されていた入試形態が以前の形式に戻されつつありますが、インターネットを利用した出願や発表、書類の郵送など、定着してきています。

都立高校入試では推薦入試の応募倍率が2.28倍（前年度2.48倍）となり、前年度より減少しました。

しかし、学校によっては高倍率となり、都立三田で4.08倍、都立駒場で4.07倍、都立青山では4.25倍となりました。一方、都立一般入試では全日制全体の最終応募倍率は1.29倍（前年度1.38倍）となりました。

また、都立第二次募集では55校で定員割れとなり、第三次募集が1,500人を越える規模で行われます。

都立推薦入試では例年行われていた「集団討論」は、11校で実施されました。推薦入試では高倍率となりましたが、一般入試の倍率は減少傾向が続いています。これは私立高校へ進学先を決定する生徒の増加によるものと考えられます。

○令和6年度進路先内訳

進路先内訳 3/21現在

■国公立 □私立



○令和5年度、令和6年度卒業生の主な進路先（50音順）

< 都立 >		< 私立 >		
青山	駒場	岩倉	専修大学附属	文京学院大学女子
赤羽北桜	産業技術高専	上野学園	滝野川女子学園	豊南
飛鳥	忍岡	科学技術学園	中央高等学院	保善
足立	芝商業	川村	中央大学	北海道芸術
足立工科	城東	北豊島	筑波大学附属 視覚特別支援	堀越
足立新田	新宿	錦城学園	帝京	武蔵野
井草	新宿山吹	クラーク国際	東亜学園	武蔵野大学附属 千代田
板橋	第一商業	慶応義塾	東京	明治大学八王子
上野	高島	慶應義塾志木	東京家政大学附属 女子	明星
王子総合	竹早	京華	東京成徳大学	目黒学院
大山	竹台	小石川淑徳	東京フランス学園	目白研心
小台橋	橘	駒沢学園女子	東洋大学京北	屋久島おおぞら
小山台	千早	サレジオン国際学園	豊島学院	立志社
科学技術	田園調布	芝浦工業大学附属	トライ式	ルネサンス
北園	豊島	十文字	日本女子体育大学 附属二階堂	早稲田実業
北豊島工科	戸山	淑徳巣鴨	日本大学目黒	早稲田本庄
桐ヶ丘	晴海総合	城北	日本大学櫻丘	
国立	日比谷	昭和鉄道	日本大学第二	
工芸	文京	駿台学園	日本大学豊山女子	
江北	向丘	正則	羽田国際	
国際		成立学園	文化学園大学杉並	